

田辺市男女共同参画センター広報紙

第 38 号

平成 21 年 2 月 28 日発行

ゆう

～ともに歩こう すてきな未来へ～



# 心つながり合う家族のために

NPO法人「WANA関西」代表藤木美奈子さんを講師に迎え、DV防止講演会を開催しました。（1月24日）

DVの相談が増えているが、以前からあったと、加害者になる場  
ものが表面化してきただけ。性別・年齢・未婚があるから、加害  
婚・既婚に関わらず、どんな人もDVを受ける者になってしまう前に  
可能性はある。見ようとしなければ見えないも自分で気づき、まわ  
のがこの社会にはある。自分には関係ないでもその人を援助して  
はなく、見ようとしてほしい。「DVを受けていくことが大切。幸  
いるなら逃げればいい」と言う人がいるが、無せな人は暴力を振るわ  
事に逃げられるかどうか分からない、もし見つけない。暴力はその人の心の叫び。しかし、暴力  
かれば殺されるかもしれない、という状態ではを振るう責任はその人にあり、だれのせいでも  
逃げることはできない。完璧な人間はいないの。罪に対する責任は取らなくてはならな  
だから、もし被害者に落ち度があったとしてい。

も、暴力を受けてよい理由にはならない。家族であっても一人ひとりに人権がある。家庭

26年間暴力を受けてきた自分は、その後遺症では子どもに関わりすぎず、依存しないほうがよ  
で怒りの感情が収まらなくなり、あらゆる所でい。依存は虐待となり得る。それぞれが自分の  
ケンカをした。被害者だった自分がまわりの人人生に責任を持ち、家族にも関わっていくべき。  
を傷つける加害者となってしまった。これでは人生とは宿題をしているようなもの。宿題は  
いけないと気づき、努力した結果、自分が丁寧自分でしなければならない。まず自分の宿題を  
に接すると相手も温かく返してくれることが分していって、たくさんの宿題を抱えた人には、  
かってきた。被害者の心のケアをしないでいる温かい視線を送ってあげてほしい。



## 男女共同参画センター 図書コーナーのご案内

男女共同参画センターのビデオ・  
図書をご紹介します。

センターにはこのほか、約300冊  
の図書と、約40本のビデオ（DV  
D含む）があり、お一人2週間まで  
貸出しをしています。



### 『もっと素敵にハーモニー』 G-NETしが



仕事一筋で家庭をかえりみない博  
が、父親の怪我によってしぶしぶ介  
護休暇を取得。仕事一徹だった父  
が、意外にも地域で顔が広いことに  
驚く。父の変わりようと、介護休  
暇中に出会った人たちの生き生きと  
した生活ぶりに触れ、やがて博の意  
識と行動に変化が見え始める。

### 『大助花子の男・女どっちが得?』 G-NETしが



喫茶「花子」で話がはずむ。「僕、  
育児休暇取りたい」、「わたし、  
トラックの運転手になりたい」。  
世の中は変わってきた。男だから、  
女だからということに縛られていた  
ら幸せにはなれない。男で損したと  
か女で損したではなく、男も女も  
どっちも得する世の中にしないと。

# 3月 講演会のご案内

March

男女共同参画推進員企画講座

## 共に生きる ～響き合う力～

坂本助産師がこれまで取り上げた赤ちゃんは約3,000人。赤ちゃん自身の力でこの世に誕生することを知っている助産師です。そのお話は、わたしたちに人として生まれてきたことのすばらしさを思い起こさせ、お互いを認め合いながら共に生きる力を与えてくれます。

講師●坂本フジエ助産師

日時●平成21年3月14日（土）

場所●午後1時30分～午後3時

市民総合センター 4階 交流ホール

定員●50名

入場料●無料

申込方法●3月13日（金）までに電話またはファックス、Eメールでお申込みください。



※一時保育（0歳～小学校3年生）を希望される場合は、3月4日（水）までにご連絡ください。



『デートDV』 遠藤智子  
携帯で行動チェック、ストーカー、嫉妬妄想、暴力をふるう…  
若者に急増する暴力支配から逃れ、命を守るための処方箋！



『一生懸命って素敵なこと』 林文子  
車のトップセールスからカリスマ女性経営者へ。私のこれまで歩んできた道のりが、少しでも働く女性たちの励み、ヒントになればと願っている。



『傷つけ合う家族』 藤木美奈子  
長年にわたるDVを、著者はどう乗り越え、自らの尊厳にめざめたのか。「弱いものいじめ」に立ち向かう心と術を説く感動のノンフィクション。



『働く女性のメンタルヘルスがとことんわかる本』 鈴木安名  
働く女性はストレスがいっぱい。心も健康で、良い仕事をするためのコツをぜひ身につけていきましょう。

## 女性電話相談室から

殴る・蹴るだけが暴力でないことをご存知ですか？  
～言葉の暴力について～

女性を支配し服従させるための命令口調、また、自分のイライラの解消のために発する乱暴な言葉も暴力です。

言葉の暴力におびえ、びくびくして生きていませんか？ 夫婦だから、恋人どうしだからと乱暴な言葉を発していいわけではないのです。

「女のくせに黙れ」「お前は変だ」「バカだ」「何も知らない」「母親失格だ」などとののしる。

「誰のおかげで食べられるんだ」と怒鳴ったり、はき捨てるような言葉を浴びせたりする。

「自殺する」「別れる」「家族や友人に危害を加えるぞ」などと脅す。

「別れるなら、子どもはおいて一人で出て行け」と言う。



### 田辺市男女共同参画センター 相談室

電話 0739-26-4919

月曜日～金曜日 午前9時～正午(祝日を除く)

女性電話相談では、女性が出会うさまざまな悩みをともに受け止め、気持ちの整理をお手伝いし、問題解決のための一歩を踏み出す応援をしています。一人で悩まないで、どんなことでも気軽にお電話ください。秘密は守ります。



発行：田辺市男女共同参画センター

開館時間

午前8時30分～午後5時30分

休館日

毎週土曜・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所在地

〒646-0031 和歌山県田辺市湊1619-8

田辺市民総合センター4階

連絡先

電話：0739-26-4936

ファックス：0739-24-8323

Eメール：danjo@city.tanabe.lg.jp

交通

JR：紀伊田辺駅から徒歩15分

明光バス・龍神バス：栄町停留所(市民総合センター前)から徒歩1分